

久里浜地域運営協議会第 33 回定例会

(平成 29 年度第5回)

日時：平成 30 年 1 月 30 日 (火)

18 時 30 分 ～ 19 時 30 分

久里浜行政センター 第 1 会議室

委員出席者：小川会長、加藤副会長、森下副会長、臼井副会長、村松監事、
北村委員、梶ヶ谷委員、関島委員、桐生委員、島内委員

地域コミュニティ支援課出席者：中島係長

政策推進部政策推進課出席者：上条部長、渡部課長、北山主査

都市部市街地整備景観課出席者：首藤課長

事務局出席者：山口館長、今場副館長、高橋

オブザーバー：(株)GNF-J 梁井様

欠席者：中井理事、山田理事、吉川監事、紛澤会計、橋本委員

1 あいさつ

山口館長あいさつ

平成 29 年度第 5 回定例会を始めます。

小川会長あいさつ

みなさんこんばんは。お忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。

本日はまず、新聞でも記事になっております横浜F・マリノスの練習拠点についてということで、市の政策推進部からの説明がありますのでよろしくお願い致します。

政策推進部 上条部長

みなさんこんばんは。改めまして、横須賀市の政策推進部長の上条と申します。どうぞよろしくお願い致します。貴重な時間をいただき、少しご説明をさせて頂いていただければと思います。

今、会長からもお話があった通り、横浜F・マリノスの本拠地・練習施設を久里浜に誘致できないかということで、横須賀市としてはマリノスと昨年の夏頃から様々な話を進めてきました。

報道発表の内容ですが、横浜F・マリノスのトレーニング施設を、拡大・拡充しますという内容を横浜マリノスが発表をしております。そして、拡大・拡充策の概要の一つ目、「横浜マリノスは、トレーニング施設を、横浜市の「新横浜公園内」で拡充することに加え、新たに横須賀市の「JR久里浜駅周辺」にも拡大することを検討していきます。」という風に発表しております。つまり、もう拡大・拡充が決まったということではなく、これから、横須賀市と横浜マリノスの間で拡大・拡充について検討していくこととなります。したがって、皆様にご説明する前にもう拡充を決定したということではないので、その大前提だけは、皆様にご理解をいただければと思います。

これから様々な調整等が必要となってきますが、我々は横浜マリノスを誘致するというのが横須賀地域、また久里浜地域にとって非常に良い効果をもたらすと思っています。ですが、反対の方もいらっしゃると思います。そのような方に丁寧にご説明をして、納得をしていただけるように、また地元の方がどのようなことを望んでいるかということ、なるべく反映させていけるような形で我々は交渉していきたいと思っています。

今日は、冒頭でどのようなことを考えているのか、どのような計画なのかということをご説明させていただいて、そのあと質疑の時間なども設けたいと思っています。これが第一回目の説明会になるのかもしれないのですが、是非ご支援ご協力、ご理解いただければと思っていますので、よろしくお願い致します。それでは内容について、政策推進課長の方から説明させていただきます。

(政策推進課 渡部課長)

まず、1月25日に報道発表された内容についてです。ただいま部長の方から申し上げましたが、これは横浜マリノスの目線で書かれております。

今回、横浜市と横須賀市、マリノスと3者でマリノスのトレーニング施設を拡大・拡充することを検討していくことを決定しました。現在マリノスは横浜市の新横浜の公園を主な練習場としているのですが、その場所は横浜市営の公園で河川敷の部分が大半を占めております。ということは、雨が多いと水が溜まってしまうという理由で、なかなか練習環境が充実していないという問題を抱えておりました。そんな中で今回、横浜市にある新横浜の公園内にある施設を拡充します。ですが、そこはあくまでも河川敷ですので、新たに横須賀市にも拡大をいたしまして、2拠点を持つといった意味で、その検討を始めたということでございます。

発表の中に、「横須賀市は、横浜マリノスと共同でJR久里浜駅周辺の土地を利用したトレーニング施設の整備について検討を開始することに合意しました。横浜F・マリノスファンのみならず、すべての人が楽しめ、地域の方々に愛される施設を目指していきます。」とあります。ここには、みなさんにも使っていただくという趣旨が込められております。

代表者のコメントでは、まず横浜マリノスの代表取締役古川氏ですが、「横須賀市そして久里浜周辺地域の活性化に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。」とおっしゃっております。サッカーの球団は、地域とのかかわりを非常に大切にしていると聞いています。また、代表取締役自らこのような発言をしてらっしゃいますので、是非、久里浜の方と良い関係を築いていただき、地元にも愛されるような施設にしていきたい、そのようにまとめていきたいと思っております。

そして、上地市長のコメントでございますが、「大変うれしく思います。今後、横須賀市内でのトレーニング拠点の整備に向け、関係する皆様と調整を図ってまいります。そして、横浜市とともに横浜F・マリノスの応援体制を強化し、ファンの拡大及びスポーツを核とした地域活性化に私自身が先頭に立って全力で進めてまいります。」ということで、市長のスポーツをきっかけにした街づくりという政策にまさに合致するものだと思っております。

完成予定時期ですが、2022年を目標に関係者の皆様と調整していきたいと思っております。次に、概要についてです。

【概要】

■目的：

・ J R 久里浜駅周辺地域の土地を活用し横浜 F ・ マリノスのトレーニング施設を整備し、選手の練習環境の向上を図るとともに、久里浜地域の交流拠点として、地域の活性化に寄与していきます。

・ 横浜 F ・ マリノスのファンのみならず、すべての人が楽しめ、地域の方々に愛される施設を目指します。

■場所：

・ J R 久里浜駅の西側（みんなの公園 2.2 畝と国有地 1 畝の約 3 畝）

■施設規模：

・ グラウンドは、フルピッチ 2 面とハーフピッチ 1 面を作りたいと考えています。（選手が不使用の際は、市民利用可能）

・ その他、1,000 人程度の観客を収容できるスタンドやトレーニングジム等を完備したクラブハウスを設置したいと考えています。（選手が不使用の際は、市民利用可能）

■整備者：

・ グラウンドやスタンド、クラブハウスなど市民が利用できる施設については、市が公園施設として整備します。

・ 横浜 F ・ マリノスが専用的に使う施設は、横浜マリノスが整備します。

■使用料：

・ 横浜マリノスは、横須賀市都市公園条例の管理許可に基づいた使用料を市に支払います。

■横須賀市のメリット：

- ・横浜F・マリノスの練習場が市内にあることにより、集客や経済の活性化に寄与します。
- ・市長の思いである、音楽・スポーツ・エンターテインメント都市の実現に向け、スポーツを軸にした新しい街の姿の創出ならびに横須賀が復活します。
- ・トップアスリートと触れ合う機会を充実させることによる、スポーツ文化を醸成します。
- ・市民も利用できる新たなサッカー場を整備します。

以上が概要です。もしご質問等ございましたらお願いします。

(委員)

みんなの公園全面を適用する話だが、久里浜地区社会福祉協議会主催で年に1度12月に小学生を集めて、保護者やボランティアを合わせて400人規模のイベント「子どもたちの自然体験 自分のせきにんで自由にあそぼう！」を行っている。マリノスの新しい施設ができた場合、そのような場所を活用できるのかどうかも合わせて考えていただいてまた報告をいただきたい。

(政策推進課 渡部課長)

かしこまりました。みんなの公園すべてをサッカー場にすることは考えておらず、市民の方が自由に入れる場所も考えています。例えば散歩のスペース、プロの練習試合や練習風景を見る観覧スポット、あるいはサッカー場に使用しなかったスペースは花壇を残すということもあります。ですが、400人の方が自由に遊べるようなスペースがあるかということ、仮にサッカー場2.5面を整備した場合は正直なところ難しいという思いがあります。しかし、せっかく地域の活動が盛んに行われているので、そこは周辺の地区で求めていくということを市としては考えていきます。

地域の皆様の様々なニーズを聞き、それをなるべく全体計画へ反映できるように努めていきたいと思えます。

(委員)

ちなみに今は全面を使ってイベントを行っている。

(委員)

リーフスタジアムを使用し、横須賀のサッカーチームが練習を行っているが、そのチームとの関係を知りたい。

(政策推進部 上条部長)

現在、横須賀マリリンというチームが活動をしています。横須賀マリリンはJ 1からは4つくらい下の格になります。しかし、今回マリノスのプロ、ユース、ジュニアのチームが来ることによって、うまくチームとの練習試合等が組めると思います。そのようなことは、横須賀マリリンも望んでいることでもあります。一緒に成長していくというようなことを考えていければと思います。

(委員)

マリノスが来ることによって、横須賀市全体にあるサッカーチームのレベルが上がるのか。

(政策推進部 上条部長)

それは間違いないと思います。選手の練習風景を好きな時間に子どもたちが見ることが出来る。その影響は大きいと思います。例えば、J 1の試合が土曜にある場合、その翌日はお互いに試合に出なかった選手同士の試合をやったりもします。また、サッカー教室もどんどん行っていく考えも示しているので、様々なことで地域に貢献できると思います。

(委員)

1,000人規模というと現在のリーフスタジアムくらいの規模なのか。

(政策推進部 上条部長)

リーフスタジアムは250人程度のスタジアムですので、4倍くらいの規模になります。スタンドを作るのは2.5面のうち1面コートのみです。

(委員)

JR久里浜駅・京急久里浜駅の周辺の整備はマリノスが来ることによって、加速して良くなっていくよう検討しているのか。

(政策推進部 上条部長)

今回の話はJRさんとも並行して話をしています。一番良いのは一緒にコラボレーションできることなのですが、なかなか企業経営の関係で難しいことがあります。ただ、我々はマリノスがもし来ると、それを起爆剤としていろいろな企業が動き出すことを期待しております。そうすると当然、それに見合ったインフラ整備も必要となります。同時にはなかなかうまくいかないところもありますが、それがあから遅くなるというよりはむしろ、前に早く進むというように考えております。

(委員)

むしろ問われているのは、久里浜の住民がどのように動くかというところであると思う。住民の地域力が問われる。マリノスの拠点ができ、人の往来が増える中で、市に全部任せておいてそれでいいのかというところではなく、JR久里浜駅付近の活性化や踏切の問題など、山積している問題が地域運営協議会で問われてくるという感じがする。

(委員)

隣接するマンションの住民は相当な騒音や照明があると思うがその点はどうか。

(政策推進部 上条部長)

おっしゃる通りだと思います。マンションにお住まいの方や周辺で仕事をしている方などに丁寧な説明を行い、ご理解いただけるように努力をしていきたいと思ひます。どうしても音は出てしまうのと、照明からの光がどうなのかということなど、これからではあります、どういう形でご理解いただけるのかということところです。

(委員)

隣接するマンションの隣には2年先に警察ができ、サッカー場はすぐ横にできるわけではないのでその点に関しては大丈夫でないかなと思ひます。

先日、市商連の賀詞交換会において、マリノスの中村部長と、担当の方が来て説明を受けました。その時に、積極的に地元にも絡み、近隣の小中学生などにサッカー教室を行うなど、地元の人たちと一緒にやっていきたいとの話をいただいております。

ですから、そのような形で地域の子どもたちには良い影響があるのではないかと期待しております。また、久里浜商店街もマリノスを起爆剤とし、商店街のイベント等にも絡んでいただきたいとお話はさせていただきました。ですので、新聞発表があった日から商店街にはマリノスの旗を掲げました。さらに、京急ウイングさんとも話をし、マリノスの販売コーナーを作るなど一緒になって盛り上げていこうという話もいただきました。

(政策推進部 上条部長)

京急さんとも話をし、色々なコラボをしていくという話をしております。マンションの騒音の件ですが、サッカー場自体の設計がまだなので、スタンドの位置など配慮しながら考えていきたいと思ひます。

(委員)

サッカー場の近辺にJR久里浜駅に行く高架下などできれば一番いいのではと思ひます。

(政策推進部 上条部長)

マリノスが来た際、JR久里浜駅の東側も含めてどのような形にするのかを皆様に示していかなければと思います。マリノスだけの話ではないので、そこも含めてどう考えていくのか話し合っていきます。

JRさんも今回の件は非常に好意的です。一緒の方向を向いてやっていければと思います。

2. 議題

(1) 各専門部会報告

ア みんなの公園専門部会 (山田部会長不在のため、山口館長)

- ・現状の動きとしては地域によって、花を植えて維持していくということ聞いております。

イ 防災・防犯専門部会 (中井部会長不在のため、山口館長)

- ・久里浜管内の避難所運営訓練は終了しました。合計の参加者は939名でした。
- ・2月13日に防災・防犯専門部会の定例会があるので、そこで結果を踏まえたそれぞれの運営委員会のコメントを集約し、3月の地域運営協議会の時にもう少し詳しい資料として皆様に示しができるかと思っておりますのでよろしくお願いします。

ウ 歴史と文化専門部会 (小川部会長)

- ・くりはまカレンダーについて色々ご配慮いただきありがとうございました。今、来年度にどのようなことをするか話しています。

- ・久里浜には多くの史跡があるが、案内板が少ないという現状です。今あるもので言えば、吉井貝塚と茅山貝塚のみになります。その他には説明板がないため、予算をとり、作成していきたいと思っています。また、できれば古墳を散策するマップなどを作成していきたいと思っています。
- ・もうひとつは、ペリー記念碑のところに、ペリー記念碑についての歴史などが記述してある説明板を作成したいと思っています。記念碑そのものを、もっとアピールしていくような活動をしていきたいと思っています。
- ・また、カレンダーをもっと早く作るよう考えています

(委員)

- ・案内板を作成する際、長持ちするものを作ってほしい。

(委員)

- ・浦賀の奉行所の再現について、機運が盛り上がってきているので、それと連動し、ペリー公園の整備も進めていきたい。ペリーについての資料をさらに集め、ペリー記念館の拡大をし、観光客を増やしたい。そのあたりを一緒になって運動を進めていくべきだと思う。

エ 中学生の居場所専門部会（臼井部会長）

- ・公立高校の入試が近づき、スペースに来ていた中学生は来なくなりました。そこでアンケートをとったところ、「大学生がいるから来たい」「大学生がいなくても来たい」それぞれに○が付きました。また、「自宅に勉強するところがない」という点は×が付きました。自宅に勉強するスペースがないわけではなく、自宅とは別に勉強するスペースがほしいという感じでした。さらに「スペースを継続してほしい」という点は、どちらでもよいという結果でした。
- ・家族の方にアンケートを取ったところ、大変喜んでいただけたことでした。

- ・来年度どうするかは、役員会で検討していきたいと思います。

(2) 久里浜地域運営協議会通信について

- ・地域運営協議会通信 No. 7 ですが、委員の方からご指導がございましたので、修正し、発行していきたいと思います

(3) 予算の執行状況・資金使途について

- ・資金使途については、くりはま街歩きガイドや地域運営協議会通信の印刷費、避難所運営訓練にて使用をする大型メガホン等の購入費、その他事務費として、進めさせていただきたいと思います。

〈委員一同 賛同〉

3 次年度の事業計画予算の検討

- ・次回3月20日が平成29年度最後の定例会がございます。その際に次年度の予算や事業計画について検討していきたいです。そこで、次回の会議前までに事務局に連絡をいただければ、次回定例会の資料といたしますのでよろしくお願いします。

4 会議の日程について

- ・平成30年度の会議の日程ですが、会議室を予約する関係で、毎回第3火曜日にさせていただきます。おおむねこの形で会議を行っていきたいと思いますが、7月以降の分に関してはまだ変更が可能なので、ご確認をお願いいたします。

(委員)

- ・ 7月17日の会議はペリー祭直後なので、ペリー祭の前に会議を行った方がペリー祭について話し合いができるので良いのではないかと。

(事務局)

- ・ では、ペリー祭の直前に行うと問題点が出てきても変更がきかなくなるので、7月の会議を前倒しして6月に行うということを検討します。

5 その他

(委員)

- ・ 社協の理事会において、避難所に障がい者が使えるトイレがないので、すぐにとはいかないが、その点について考えていただきたいという要望がありました。

(委員)

- ・ 学校には車いす用のトイレはないのか。

(委員)

- ・ 明浜小学校はユニバーサルトイレが1階に1つだけあります。

(委員)

- ・ 久里浜中学校は体育館にあります。ですが、障がい者の避難所である武道場にはないです。

(委員)

- ・ 避難所は既設のものを使っている所以で様々な問題があります。この件については2月の防災・防犯専門部会の会議の時に報告をしておきます。

次回は平成 30 年3月 20 日(火)

午後 6 時 30 分～

久里浜行政センター 第 1 会議室